



各フィールド注目科目をピックアップ!

※各学科で学ぶ科目を色分けしています
■ 両学科共通 ■ 商業科のみ ■ 情報科のみ

マーケティングフィールドを学び、新たな時代をつくる!



マーケティング
【情報科は選択】

商品の売れる理由がわかる! 実例からその仕組みを解き明かします

商品開発と流通
【選択】

ヒット商品を企画する! 商品開発の裏側を学び、新商品を企画します

観光ビジネス
【選択】

観光で地域を活性化! 観光客に対するビジネスを学び、企画します

地域探究
【選択】

ビジネスで地域を救う! この町の課題をSDGsの視点で解決します

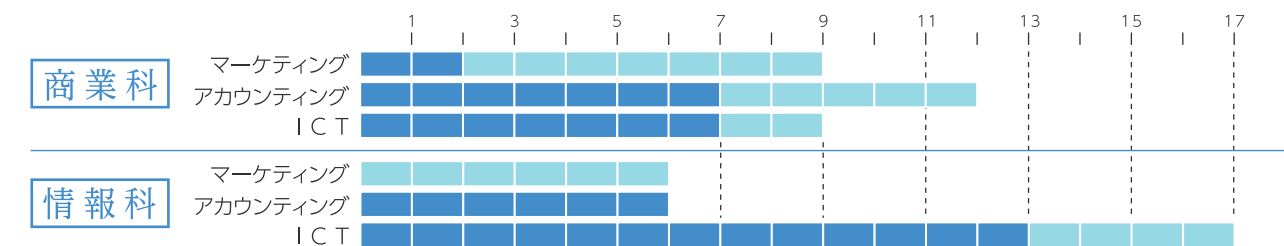
両学科で学ぶ3つのフィールド

商業科も情報科も、同じ「商業科目」を学習する仲間です。本校では次の3つのフィールドを中心とした科目を設定しています。

<p>1 新商品や新サービスを開発して販売する方法から、広告や宣伝、観光に関する学びの領域</p> <p>マーケティングフィールド</p>	<p>2 会社のお金の流れを記録する方法など、企業のお金の管理に関する学びの領域</p> <p>アカウンティングフィールド</p>	<p>3 ビジネス文書の作成、プログラミング、インターネットの活用などに関する学びの領域</p> <p>ICTフィールド</p>
--	--	---

商業科と情報科の違い

次の表は3つのフィールドに関する両学科の授業時間数を1時間1コマで表現しています。 □ …1時間 ■ 必修科目 □ 選択科目



商業科では、マーケティングおよびアカウンティングフィールドの選択科目を多く設け、2フィールドいずれかのスペシャリストを目指します。またICTフィールドでPCの基本操作スキルも身につけます。

情報科では、ICTフィールドに重点を置きながら、アカウンティングフィールドを必修とし、マーケティングフィールドの選択も可能です。さらに両学科とも、この3フィールド以外に、全てのフィールドに横断するような総合科目を設定しています。

メリットがこんなにも!

- POINT 1 社会人に必要な「ビジネス」や「ICT」のスキルを身につけることができる!
- POINT 2 商業科目は、全員が初めて学ぶ科目ばかり! 一から勉強を始められる!
- POINT 3 検定合格を目標にするので、勉強のモチベーションがアップする!
- POINT 4 取得した検定資格は、就職や進学で活用できる! 大学の推薦試験も有利に!

アカウンティングフィールドを学び、会社の心臓部=お金をマネジメントする!

<p>簿記</p> <p>会社のお金の流れがわかる! 会社版「家計簿」の作成が可能になります</p>	<p>財務会計I</p> <p>会社の価値がわかる! 簿記の上級資格を取得し、進路に活かします</p>
<p>財務会計II 【選択】</p> <p>アカウンティングスペシャリストへ! さらに会計の知識を深めます</p>	<p>原価計算 【選択】</p> <p>商品の価格を決める方法がわかる! 工場版「家計簿」の作成が可能です</p>



ICTフィールドを学び、情報社会を力強く生き抜く!



情報処理(1年)
ソフトウェア活用(2年)

パソコンの基本操作から文書、表・グラフの作成まで、スキルを習得!

ネットワーク活用
【選択】

インターネットビジネスを展開! コンテンツの制作も行います

アルゴリズムとプログラミング
I & II 【IIは選択】

プログラミングスキルを習得し、ソフトを利用して開発まで行います

ITマネジメント

高レベルで最新のIT知識を身につけ、ITパスポート試験に挑戦します

このほかにも、ビジネスマナーを学ぶ授業や、模擬取引を行う授業など、魅力あふれる科目が多数あります!



時代の先を読むマーケティング力や
会計処理能力を身につけ、
ビジネスの
スペシャリストになる！



情報活用能力や
プログラミング能力を身につけ、
ITのスペシャリストになる！

商業科で身につく3つのチカラ

ビジネスに関する以下の専門知識や技術を身につけ、地域経済における問題を発見し、それを自身の課題として捉え、その解決に向けて自らの能力を発揮することで、地域社会に貢献することができる人材を目指します。

- 1 適切な会計情報を提供し、効果的に活用できる
会計処理能力
- 2 マーケティングの考え方をふまえてビジネスの魅力を発見し、地域と協働できる
ビジネス企画力
- 3 アプリケーションソフトを適切に取り扱い、ビジネスへ効果的に活用できる
情報活用能力

情報科で身につく3つのチカラ

ビジネスに関する以下の専門知識や技術を身につけ、地域経済における問題を発見し、それを自身の課題として捉え、その解決に向けて自らの能力を発揮することで、地域社会に貢献することができる人材を目指します。

- 1 企業活動に有用なシステムを開発することができる
プログラミング能力
- 2 情報技術の進歩に関心を抱き、新たなサービスや技術に対して積極的に取り入れることのできる
IT対応力
- 3 アプリケーションソフトを適切に取り扱い、ビジネスへ効果的に活用できる
情報活用能力

カリキュラム

■ 普通科目 ■ 商業科目 ■ 選択科目 1～2年 英語演習 (7時間目授業)

1年	国語		地歴	数学	理科	保健		外国語		商業				HR
	現代の国語	言語文化	地理総合	数学I	科学と人間生活	体育	保健	英語コミュニケーションI	ビジネス基礎	マーケティング	簿記	情報処理		
科目														
単位	2	2	2	3	2	2	1	3	2	2	4	4	1	

2年	国語		公民	数学	保健		外国語		家庭	商業				HR
	文学国語		公共	数学A	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現I	家庭総合	財務会計I	ソフトウェア活用	選択A	選択B	
科目														
単位	5		2	2	2	1	2	2	2	3	3	3	2	1

選択A: 商品開発と流通・原価計算 / 選択B: 地域探求・ビジネスマネジメント

3年	国語		地歴	数学	理科	保健		外国語		家庭	商業				HR
	論理国語		歴史総合	数学活用	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭総合	課題研究	総合実践	ビジネス・コミュニケーション	選択	
科目															
単位	3		2	2	2	3		2	2	2	3	2	2	1	

選択: 観光ビジネス・財務会計II・ネットワーク活用

目標とする資格

次の検定資格の取得を目標に学習します。

- 全商簿記実務検定1級
 - 全商情報処理検定ビジネス情報部門2級
 - 全商ビジネス文書実務検定2級
- 【選択科目】
- 全商財務会計検定
 - 全商商業経済検定1級
- その他推奨する資格
- 日商簿記検定
 - 全商ビジネス計算実務検定 (珠算・電卓)
 - 全商英語検定
 - 秘書検定
 - 日本語検定

カリキュラム

■ 普通科目 ■ 商業科目 ■ 選択科目 1～2年 英語演習 (7時間目授業)

1年	国語		地歴	数学	理科	保健		外国語		商業				HR
	現代の国語	言語文化	地理総合	数学I	科学と人間生活	体育	保健	英語コミュニケーションI	ビジネス基礎	簿記	情報処理	アルゴリズムとプログラミングI		
科目														
単位	2	2	2	3	2	2	1	3	2	3	4	3	1	

2年	国語		公民	数学	保健		外国語		家庭	商業				HR
	文学国語		公共	数学A	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現I	家庭総合	財務会計I	ソフトウェア活用	ITマネジメント	選択	
科目														
単位	5		2	2	2	1	2	2	2	3	4	2	1	

選択: 地域探求・アルゴリズムとプログラミングII

3年	国語		地歴	数学	理科	保健		外国語		家庭	商業				HR
	論理国語		歴史総合	数学活用	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭総合	課題研究	総合実践	ビジネス・コミュニケーション	選択	
科目															
単位	3		2	2	2	3		2	2	2	3	2	1		

選択: マーケティング・観光ビジネス・ネットワーク活用

目標とする資格

次の検定資格の取得を目標に学習します。

- ITパスポート試験
 - 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級
 - 全商ビジネス文書実務検定2級
 - 全商簿記実務検定2級
- 【選択科目】
- 全商情報処理検定プログラミング部門1級
 - 全商商業経済検定2級
- その他推奨する資格
- 全商ビジネス計算実務検定 (珠算・電卓)
 - 全商英語検定
 - 秘書検定
 - 日本語検定